

# 知道 CHIDO-KAIHO 会報

# 94

編集 知道会広報委員会  
〒310-0011水戸市三の丸3-10-1  
茨城県立水戸第一高等学校内  
発行人 鬼澤邦夫  
発行日 令和元年5月1日  
通巻 第94号  
メール chidokai\_mito@chidokai.jp  
H P www.chidokai.jp

目次	母校創立140周年記念事業の終了にあたって	1
	創立140周年記念事業報告	2
	一高だより	4
	学年・地域等同窓会	6

## 母校創立140周年記念事業の終了にあたって

知道会会長 鬼澤 邦夫

このたびの母校創立140周年記念事業の実施にあたりましては、知道会会員、水戸一高教職員ほか関係の皆様にご多大なるご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

お蔭様をもちまして、皆様からお預かりした記念事業募金は当初目標額を大幅に上回って4千5百万円を超え、事業のうち最も大きな柱である電子黒板の設置については昨年4月から授業で活用され1年が経過いたしております。生徒海外派遣プログラムへの今後10年間の補助も当初予定より増額し、その第1回目にあたる派遣はすでに今年3月に実施されて1年生40名が成果を収めて参りました。さらに追加の事業として体育館のトレーニングマシンを更新して昨秋から運動部活動の生徒を中心に使用を開始、その他に生徒の大会遠征旅費への補助10年分を確保するなど、皆様のご厚意を在校生への支援に最大限に活かすべく予算執行にあたっているところです。

学校主催の記念式典は平成30年11月17日(土)午前には茨城県民文化センターにおいて開催されました。記念講演は昭和56年卒業のグ



ロービス経営大学院学長 堀義人氏により行われ、生徒の心に力強いメッセージを残しました。知道会主催の記念祝賀会は同日午後ホテルレイクビュー水戸において行われ、約670名の出席のもと盛大に開催されましたことをご報告申し上げます。

今回の事業実施にあたり早くから準備運営にあたられました記念事業実行委員会、祝賀会実行委員会の委員の皆様にも感謝申し上げます。

今後、母校が創立150年、そしてその先へと歴史を重ねていく中で、これまで諸先輩によって培われてきた伝統を受け継ぎ、そして新たな歴史を紡いでゆく後輩たちがより充実した水戸一高での生活を送ることが出来るよう、水戸一高、奨学会と連携して母校の更なる発展に寄与して参りたいと思っております。

今後とも知道会の活動に一層のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 140周年記念事業のあゆみ

〈平成27年〉

- 12月9日 校内組織『創立140周年記念事業検討委員会』より要望
- 1) 式典の実施
- 2) 「水戸一高年表」の作成
- 3) 電子黒板の導入
- 4) 海外派遣事業の継続

〈平成28年〉

- 10月22日 第1回記念事業実行委員会
- 12月 記念事業 募金開始

〈平成29年〉

- 4月22日 第2回記念事業実行委員会
- 10月21日 第3回記念事業実行委員会

〈平成30年〉

- 2月~11月 祝賀会実行委員会①~⑧ 全8回
- 1月7日 140周年記念「剣道部大同窓会」
- 3月 30教室に電子黒板設置
- 4月14日 第4回記念事業実行委員会追加支援決定(トレーニングマシン)
- 記念品決定(オリジナルバッグ・オリジナルマフラータオル)

- 6月28日 140周年記念ゴルフ大会(大洗ゴルフ倶楽部)

- 7月 創立140周年記念会員名簿発行

- 10月16日 第5回記念事業実行委員会
- 11月 トレーニングマシン設置(体育館2階)

- 11月17日 140周年記念式典(県民文化センター)

- 140周年記念講演 堀義人氏(S56卒:グロービス代表)

- 140周年記念祝賀会(ホテルレイクビュー水戸)

- 11月18日 140周年記念試合「水戸一VS作新学院」硬式野球部

〈平成31年〉

- 3月6日 生徒海外派遣プログラム実施



電子黒板の投影機

今年の「会員の集い」は11月16日(土)水戸京成ホテルで開催します

# 創立140周年記念事業報告

昨年実施された数々の記念事業について、写真で紹介します。

## 創立140周年記念式典を開催（学校主催）

平成30年11月17日（土）、創立140周年記念式典が、快晴の茨城県立県民文化センターにおいて、知道会、奨学会、歴代校長、旧職員など多数の来賓の方々をお迎えして挙行されました。

式典はオーケストラピットの吹奏学部による「アルセナール」の演奏によって厳かに開幕しました。司会は柴崎孝浩教諭が務めました。青木睦人教頭による開式のことばに続き、国歌斉唱、鈴木一弘校長による式辞、創立140周年記念実行委員会委員長でもある鬼澤邦夫知道会会長、そして白石嘉亮奨学会会長のあいさつと進行しました。来賓祝辞は大井川和彦知事と猪瀬宝裕茨城県高等学校長協会水戸地区会長よりいただきました。さらに金澤郁夫副校長による来賓紹介・祝電披露と進み、記念品贈呈は、鬼澤会長から鈴木校長に目録が手渡されました。最後に澤田啓世知道生徒会長が在校生を代表してあいさつし、校歌斉唱後、青木教頭の閉会のことばで終了しました。休憩に引き続き、堀義人氏による記念講演が行われました。堀氏は本校昭和56年卒で、現在はグロービス経営大学院学長を務めています。「水戸一高出身起業家の半生～日本一の大学院をゼロからつくり、水戸・日本を良くするために生きる～」という演題で1時間半にわたり生徒達の心に熱く語りかけました。謝辞は笠倉真衣前知道生徒会会長が述べて、記念式典は無事終了しました。

## 記念祝賀会を開催

記念式典に引き続いて、祝賀会を「ホテルレイクビュー水戸」にて開催しました。

祝賀会には約670名が参加、受付開始直後から多くの会員で賑わいました。会場には過去から現在の学校の様子を記録した貴重な写真パネルの展示や、薬医門や歩く会ゴール（学校正門）を背景にしたフォトスポットが設置されたほか、校章を付した「水高饅頭」の販売も行われました。



祝賀会は物故者への黙祷、助川副会長（昭42卒）の開会挨拶、鬼澤会長（昭38卒）挨拶、鈴木校長（昭52卒）挨拶、大井川茨城県知事（昭58卒）のビデオメッセージに続いて秋田高校同窓会の佐野元彦副会長からご挨拶をいただき、後藤卓三顧問（昭19卒）の発声による乾杯で祝宴開始



となりました。

途中、卒業50周年を迎えた昭和43年卒代表からの挨拶の後、アトラクションはミュージカルや舞台上で活躍中の三森千愛さん（平13卒）による、ピアノを伴奏にした魅力あふれる歌唱を楽しみました。



終盤の幹事引き継ぎ式では、今回幹事の昭62、平9、平19卒と次回「会員の集い」幹事の昭63、平10、平20卒が壇上に上がり、幹事の印である軍配が受け渡されました。最後に応援団OBOGが「納豆踊り」と「吉田の明神」を演じた後、約40名の吹奏楽部OBOGによる伴奏で校歌を斉唱し、栗原幹事長（昭48卒）による閉会挨拶、3本締めにてお開きとなりました。

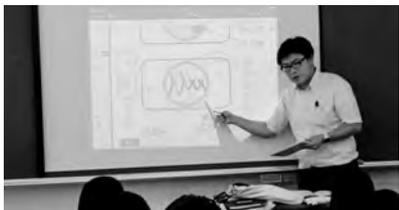


## 各教室に電子黒板を設置

昨年3月に普通教室すべてと講義室に合わせて25台の電子黒板が設置されてから1年あまりがたちました。また、その後特別教室用に2台の移動式電子黒板も導入していただきました。この1年間、数多くの授業で積極的に利用させていただきました。特に電子黒板の特性を活かして、既存の黒板と電子黒板を併用する授業などを展開することができるようになり、導入前より学習効果を高めることができました。今後とも有効に活用していきたいと



思います。ありがとうございました。



## 生徒海外派遣プログラムに10年間補助

シンガポールでの生徒海外派遣プログラムをさらに充実した内容とするため、平成28年度から派遣先をアメリカ東海岸とし、14日間の日程に変更しました。このプログラムに参加する経験は、生徒にとってかけがえのない財産になると同時に、それらの経験を活かして帰国後の学校生活に意欲的に取り組み、本校の活性化に大きく寄与しております。このプログラムに知道会からの援助を継続していただきますことに感謝いたします。



日本総領事館訪問

## 年表を編纂

平成20年1月から30年10月までの本校の年表を編纂いたしました。本校の行事と県の教育史、国内外の出来事を中心に整理すると同時に、教職員異動や部活動記録などを追記しました。この10年での大きな出来事と言えば、平成23年3月11日に発生した東日本大震災です。このときの本校での様子は、年表だけでなく写真資料も付け加えて、被災状況を詳しくまとめました。校内の施設



の復旧も済み、次の150周年に向けて歩いていく本校の未来を感じることができればと思っております。

## 体育館にトレーニングマシンを設置

この度は、新しいウエイト器具を購入して下さり、ありがとうございます。私たちは試合に勝つという目標に向かって、日々努力しています。そのためにはプレーの質を上げ、成長することが必要です。新しいウエイト器具が導入されたことで、トレーニングのバリエーションが増え、より効率的な練習を行うことができるようになりました。毎日の練習において、その成果を実感しています。これからも新しいウエイト器具を使用して練習に励み、試合で結果を残せるよう努力していきます。本当にありがとうございました。

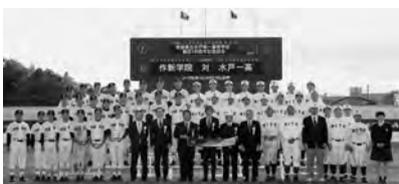


## 硬式野球部 作新学院と記念試合

平成31年11月18日、ノーブルホームスタジアム水戸に作新学院を招いて創立140周年記念試合を実施しました。好天に恵まれ、大井川茨城県知事などのご来賓や関係者各位、約1,500人の観客が来場する中、盛会裏に開催することができました。試合は0-10で敗れましたが、技術だけでなく試合に臨む姿勢も含め学ぶべきところが多く母校の選手達には貴重な機会となりました。

記念試合の開催にご協力いただいた知道会の皆様にご心より御礼申し上げますとともに、今後とも母校硬式野球部にご支援をいただけますようお願い申し上げます。

水府倶楽部（硬式野球部OB会）  
幹事 船橋信正（昭63卒）



## 第68期第41回代議員会

第68期（平成30年10月～令和元年9月）第41回代議員会が平成30年10月20日（土）14時から知道会館にて開催されました。審議等概要は以下の通りです。

- 第67期事業報告ならびに学年・地域・職域知道会の活動状況が栗原幹事長から報告されました。
- 第67期決算について関田財務委員長から、続いて監査結果が報告され、承認されました。
- 第68期事業計画案が栗原幹事長から説明され、承認されました。
- 第68期予算案が関田財務委員長から説明され、承認されました。
- 創立140周年記念事業について、収支及び進捗状況が栗原幹事長から説明され、承認されました。
- 役員改選について、鬼澤会長、篠原監事、小野瀬監事を選任（留任）する指名委員会の案が提案され、承認されました。

## 第68期 収支予算書

自平成30年10月1日  
至令和元年9月30日

収入の部 (単位:円)

科目	予算額 a	前期予算額 b	増減額 a-b	備考
年会費	8,000,000	8,000,000	0	
卒業生入会金	1,600,000	1,600,000	0	新卒320名
寄附金収入	200,000	550,000	△ 350,000	
会員の集い収入	0	2,550,000	△ 2,550,000	
受取利息	5,000	5,000	0	
特別積立金取崩	2,500,000	2,500,000	0	
140周年会計から繰入	1,200,000	1,200,000	0	
雑収入	50,000	50,000	0	
当期収入合計	(13,555,000)	(16,455,000)	(△ 2,900,000)	
前期繰越金	(1,088,788)	(351,296)	(737,492)	
収入の部合計	(14,643,788)	(16,806,296)	(△ 2,162,508)	

支出の部

科目	予算額 a	前期予算額 b	増減額 a-b	備考
運営費	(10,580,000)	(13,150,000)	(△ 2,570,000)	
会員の集い費	0	2,400,000	△ 2,400,000	
会議費	100,000	100,000	0	
事務局運営費	1,600,000	1,800,000	△ 200,000	
通信費	3,200,000	3,200,000	0	
消耗品費	100,000	100,000	0	
旅費交通費	150,000	150,000	0	
渉外費	100,000	100,000	0	
支部強化費	400,000	400,000	0	
振替手数料	650,000	600,000	50,000	
印刷費	4,200,000	4,150,000	50,000	
リース料	80,000	150,000	△ 70,000	
事業費	(550,000)	(480,000)	(70,000)	
総務委員会費	20,000	20,000	0	
財務委員会費	20,000	20,000	0	
広報委員会費	250,000	180,000	70,000	
名簿委員会費	10,000	10,000	0	
親睦委員会費	150,000	150,000	0	
会費納入促進対策費	100,000	100,000	0	
母校助成費	(2,920,000)	(2,570,000)	(350,000)	
卒業記念品費	520,000	520,000	0	
大会補助金	800,000	450,000	350,000	
卒業生褒賞費	400,000	400,000	0	
海外派遣助成費	1,200,000	1,200,000	0	※ 1
特別積立金繰入	(0)	(0)	(0)	
予備費	(593,788)	(606,296)	(△ 12,508)	
当期支出合計	(14,643,788)	(16,806,296)	(△ 2,162,508)	
次期繰越金	(0)	(0)	(0)	
支出の部合計	(14,643,788)	(16,806,296)	(△ 2,162,508)	

※ 1 母校が実施する「生徒海外派遣プログラム」に対する140周年記念事業を原資とした助成

## 新任のごあいさつ



校長  
高村 祐一

この度、鈴木一弘校長の後任として着任いたしました。

私は、昭和56年3月卒業で、入学した昭和53年には創立100周年記念式典が挙行されました。歴史や伝統の重みを一年生ながら感じたことを記憶しています。在学中は、松広義先生に柔道のご指導をしていただき、充実した高校生活でした。教諭として平成13年から7年間本校に勤務し、その後県教育庁で計7年間、他の県立高校で管理職として計4年間勤務を経て、11年ぶりに母校に戻ってまいりました。

久々に本校生徒の様子を見ますと、時代の流れなのでしょうが、以前とは違って、どこかこぢんまりとまとまっていて、おとなしい印象を受けました。しかし、放課後の部活動や委員会活動の様子を見るにつれ、本校の伝統である「自主自立」の気風が感じられ安堵しているところです。予測不可能な時代でも、英知を絞ってたくましく生きることのできる知力を持った生徒を育てたいと考えております。

本校は、本年度入学生の2年次(2020年)から、茨城の地域医療を担う人材育成を目的として「医学コース」を設置します。また、県の高校教育改革の一環として、2年後の2021年からは附属中学校(2クラス募集)を設置し、中高一貫校として新たな歴史を刻もうとしています。今後とも知道会の皆様のご支援とご協力をなお一層賜りたくお願い申し上げます。

## 退任のごあいさつ



前校長  
鈴木 一弘

この度、4年間の職務を終え、退任いたしました。10年ぶりに母校に戻っての勤務でしたが、創立140周年に向けて母校への期待と関心が高まる中、皆様のご理解とご協力をいただき何とか職責を全うすることができました。これまでご支援を賜りました鬼澤会長をはじめとする知道会会員の皆様に、心から御礼申し上げます。

自主自立の気風が溢れる水戸城跡の学び舎での日々をふり返ると、学苑祭、歩く会、野球応援、心に火をつけるフォーラム、知道プロジェクト、ランチタイム・ビブリオバトル等々、思い出は尽きません。それだけ本校の生徒たちの学校生活は豊かであり本校の教育活動は充実しているのだという思いを改めて深くしております。

知道会のご支援で実現した音楽劇『夜のピクニック』(水戸芸術館)鑑賞やアメリカ東海岸生徒派遣プログラム、昨年11月に盛大に開催された創立140周年記念式典・祝賀会も忘れることのできない思い出です。

社会が急激に変化し課題が顕在化する中、昨年2月には医学コースの設置、今年2月には併設型中高一貫教育導入の計画が発表されました。これから本校は、新校長の下で、皆様が築いてこられた140年余の良き伝統を継承しながら、時代の進展に即した新たな学校のかたちを創造することに取り組んで行くこととなります。

今後とも、知道会の皆様のご支援とご協力をお願いし、退任のご挨拶といたします。

## 平成31年度定期人事異動

次の方々が異動された。

### 1 退職 (教科および在職年数)

- 鈴木 一弘 (校長、4年)  
高校教育課へ
- 高麗 良男 (室長、2年)  
県立図書館へ
- 金子 昌嗣 (国語、19年)  
水戸一高 (非常勤講師)
- 鈴木 悦男 (国語、2年)
- 綿引 隆文 (理科、5年)
- 川上 仁司 (理科、3年)
- 平山 武秀 (体育、1年)
- 加藤 逸男 (進路、1年)
- 寺門由美子 (事務、2年)
- 大森 由美 (事務、3ヶ月)

### 2 転出

- 青木 睦人 (教頭、2年)  
高萩高へ (校長)
- 吉川 訓代 (家庭、13年)  
新・鉾田二高へ
- 宮下 昌幸 (理科、10年)  
勝田工高へ
- 山口 悟 (理科、7年)  
日立一高へ
- 矢野 賢 (英語、6年)  
多賀高へ
- 國府田宏輔 (理科、5年)  
太田西山高へ
- 小林 亮太 (体育、5年)  
新・鉾田二高へ

### 3 転入 (学校名は前任校)

- 高村 祐一 (校長、緑岡高)
- 海老澤浩一 (教頭、那珂湊高)
- 會澤 浩 (室長、水戸商高)
- 寺門 弘訓 (理科、勝田高)
- 池田 頼正 (理科、佐和高)
- 大山 美和 (理科、那珂高)
- 川井 美穂 (家庭、潮来高)
- 寺田 尚子 (英語、中央高)
- 木村 優介 (体育、水戸農高)
- 猿田 真由 (国語、新規採用)
- 田村 彩 (事務、盲学校)
- 橘 千代子 (国語)
- 前島 秀雄 (数学)
- 木戸 明良 (理科)
- 原田 晋市 (理科)
- 大内 吉晴 (理科)
- 齋須 克久 (体育)

## 入試結果と進路状況

主な大学の合格者数を以下に記す。( )内は現役合格者数。

### ○国立大学

北海道大	9 (4)
東北大	31 (13)
茨城大	24 (22)
筑波大	28 (20)
千葉大	10 (6)
東京大	8 (3)
東京工業大	4 (3)
一橋大	5 (3)
名古屋大	2 (0)
京都大	4 (3)
大阪大	7 (3)
神戸大	2 (1)

### ○私立大学

青山学院大	20 (11)
慶應義塾大	22 (7)
上智大	8 (7)
中央大	52 (13)
東京理科大	75 (19)
法政大	48 (19)
明治大	72 (18)
立教大	32 (13)
早稲田大	37 (17)

### ○医学部医学科

国公立	9 (5)
私立	13 (1)

(平成31年4月1日現在)

## 平成30年度 生徒海外派遣プログラム実施報告

平成31年3月7日から3月20日の14日間、1年生40人がボストンとニューヨークにて研修を積んできました。平成25～27年度のシンガポール研修を前身とするアメリカ研修も3回目となりましたが、今回も知協会からはさまざまなご支援をいただき



国連訪問

まして、感謝しております。

まず、ニューヨークでは、国連や911跡地で平和への思いを強めた後、現地で活躍する卒業生の大谷誠様(昭57卒)、船山和泉様(昭60卒)、鮫川佳那子様(平16卒)の講話を通じ、社会で活躍するための考え方を学びました。3人の共通点は信じる道を果敢に突き進む度胸と決断力でした。心に火がつく熱い夜でした。



鮫川先輩のお話



大谷先輩のお話



船山先輩のお話

翌朝、イエール大学に寄りながら、ボストンへ移動し、ハーバード大学とマサチューセッツ工科大学も訪問しました。並々ならぬ努力と、それがもたらす自信と誇りで輝く姿に、生徒は、大きな刺激を受けました。世界最高峰の大学生たちは、文系・理系の枠にとらわれず、幅広く興味を持ち、読書をし、スポーツや芸術も楽しむ、真のエリートでした。

また、現地の高校で授業を受けたり、日本を紹介するプレゼンテーションを行ったりした他、ハーバード大学の博士課程3年生による講義、

タフツ大学のワークショップ、経営コンサルタントによる特別講演など、高度な内容を英語で理解することで、大きな達成感を得ました。

他にも、ボストン美術館や日本総領事館を訪問したり、班別自由行動で博物館や史跡を見学したりして、歴史、文化、民族、外交など、多岐にわたって学びました。ホームステイ先もさまざまな背景を持っていて、視野が広がったことでしょう。

最後に、生徒の感想を紹介します。

- ・アメリカにはあらゆる人がいて、それぞれが独自性を持ち、力強いメッセージをくれた。人と違うことを恐れるのではなく、自らが正しいと思うことを、自信を持ち、実行していくべきであると考えた。

- ・これまでは言いたいことがあっても人任せにすることが多かったが、自分の殻を破ることができた。

- ・案内をしてくれた学生さんが、人よりも努力したと堂々と言えることはとても尊敬できることだと思った。成功している人はそのぶん人の何倍も努力をしているのだと感じた。

- ・笑顔とポジティブ思考が増えた。確実に英語力が上がった。

- ・日本のほうが生活の質がよいと感じる部分が多かった。外国に行くことは母国を見つめ直すきっかけになると思った。

(引率：小野瀬勇一 益子友希)



ハーバード大学模擬講義



シャロンハイスクール生へ  
日本文化の紹介

## 昭和32年卒 3年3組クラス会

平成30年10月13日（土）、ホテルレイクビュー水戸にて、クラス会を開催。卒業後61年が経ち、傘寿祝いも兼ねたクラス会でしたが、19名の仲間が出席してくれました。残念ながら、21名の仲間が他界しており、最初に黙祷を捧げ、ご冥福を祈りました。

清水壽夫幹事の司会で会が始まり、幹事を代表し私が挨拶申し上げた後、仙台から来てくれた高山英俊君の発声で仲間の平穏な日常と健康を願い、杯を挙げました。

しばし美味しい料理と楽しいお酒を飲みながら歓談し、近況報告。日々の生活環境、仕事ぶり、趣味の話、ボランティア活動、健康維持法、一病息災の話等々、興味ある話が続きました。

書きぬ話に時を忘れましたが、外岡仁君の音頭で校歌を斉唱後、一木邦彦幹事の「次回は5年後くらいに、又皆元気で集まろう」という挨拶で、再会を楽しみに散会となりました。

代表幹事 本多 捷郎



## 常陸大宮知道会

常陸大宮知道会の平成30年度総会を11月4日、割烹「ちのね」に於いて開催したところ、本部から栗原英則幹事長のご臨席を頂き、また、水戸中学卒業から近年の水戸一高を卒業された方まで、幅広い年齢層の会員35名のご出席を頂きました。

現在394名の会員を数える常陸大宮知道会は、平成17年の設立以来2年おきくらいに総会を開催してまいりましたが、平成30年は母校の創立140周年という記念すべき年でありましたので、会員の皆さんと共に祝杯をあげながら懇親を深め、さらには誇りをもって同窓生としての絆をより一層強めていきたいとの思いから、総会を開催した次第であります。

総会は、年齢などの違いを超越して打ち解けながら、学生時代の話題を中心として大いに語り合っ



しく有意義な一時を過ごすことができ、校歌を高らかに斉唱して閉会となりました。実り多い総会となりましたことを喜ばしく思っております。

大瀧典夫（昭27卒）

## 西日本水中一高会

12月1日、大阪第一ホテルにて、2018年度西日本水中一高会総会が開催されました。来賓として鈴木一弘水戸一高校長、河野秀幸知道会幹事長、知道会事務局局長徳永美佳さん、宍倉美恵子東京知道会組織委員長の4人をお迎えし、学生から旧制中学卒業の大先輩まで合わせて40名の出席者が集いました。

井内会長挨拶、来賓祝辞に続いて議事があり、決算・予算のほか、歓送迎会、若手後援会、バングラディッシュ避難民支援募金、ミニ歩く会等の事業計画が承認されました。その後、脳神経外科医である伊原副会長が「再生医療とそれに至るまでの話」と題して講演されました。懇親会では、伊原さんのサクソフォンの演奏も楽しみながら、出席者が世代を超えて同じテーブルを囲み、交流を深めました。散会后、さらに二次会、三次会に繰り出す人たちも多数いたようです。

笹沼一弘（昭58卒）



## 水戸知道会

2月16日、割烹魚政にて、開催されました。昔は10地区でしたが、現在は6地区が活動しております。各地区の会長は副会長として構成しております。2年に一回開催しており、今年がその年でした。来賓として河野秀幸幹事長、稲葉知道会副会長も参加されました。徳永事務局長も参加し、総勢33名の参加でした。

今年は石州流茶道を知ってお手前も経験したいということで、開催しました。前半講演「石州流茶道と水戸何陋会」という演題で新荘知道会会長の久信田（昭43卒）君、その後稲葉副会長、そして全員に点前が後藤素周先生（下市知道会会長 昭43卒）、宮田君（昭53卒）の手伝いで行われました。とても厳かでない茶会でした。終了後18時より懇親会が始まり、時間の許す限り参加者で楽しく杯を重ねました。後藤素周先生、宮田君本当に参加者全員に茶道

具等々の準備本当にありがとうございました。

水戸知道会会長 大金誠（昭42卒）



## 東京知道会

平成30年2月23日、大手町サンケイプラザにて平成最後の「同窓の集い」が開かれました。平成2年卒が幹事学年となっており、ここ数年間で最多の359名が集う盛会となりました。

記念講演は、幹事学年の元田玲奈さん・元田結花さん姉妹による「キャリアパスから見た日本の現状」。姉の玲奈さんは3歳にして子供のお医者さんになると決め、その通り東大医学部から小児科医に。一方、実務家の国際公務員を夢見る妹の結花さんは東大法学部を首席で卒業。キャリアパスのため就いた大学教員の方がむしろ適職と気付き、今は法学部教授です。二人のやり取りがまた面白い。発達障害の子も教育現場で受け入れてと玲奈さんが言えば、新自由主義的教育の流れに抗し理想的教育に燃える結花さんは、学生はまず基礎学力を付けてと議論は平行線。でも共に海外で異文化を経験し異質なもののへの共感・想像力が大事と言う点は同じ、共に人格者でした。真に優秀な人は、パワーを人格向上にも振り向けられるのでしょうか。

門馬俊光（昭47卒）

## 水中・水戸一高卓球部 創立80周年記念祝賀会

平成31年1月3日、ホテルレイクビュー水戸にて水中・水戸一高卓球部創立80周年記念祝賀会が開催されました。奇しくも平成となって初めての正月、29年前の同日に50周年記念祝賀会が開催されており、それ以来、平成最後の正月での周年祝賀会の開催となりました。

祝賀会では酒井一郎後援会長（昭55卒）のご挨拶に始まり、小笠原正裕名誉会長（昭40卒）のご挨拶、現卓球部顧問、古川正先生のご挨拶がございました。その後、後援会より活動支援金の贈呈、スライドで今ま

での卓球部の歩みの紹介、現役卓球部員の自己紹介がありました。歴代顧問の先生方から祝辞もいただき、最後に全員で記念撮影、そして校歌斉唱。盛会のうちに閉会となりました。

次回は会場に卓球台を持ち込みたいたなんて声も聞こえましたが、次は学校創立150周年の10年後か、はたまた部創立100周年の20年後の開催か？何はともあれ水戸一高卓球部のさらなる繁栄を祈るOB一同でございました。

齋藤修（平6卒）



### 宮田忠幸居合道範士祝賀記念 剣道部OB会新春稽古会

水戸一高剣道部OB会は1月14日に高山能昌（昭34卒）会長のもと、約30名の諸氏が剣道場に集まり、定例の新春稽古会を開催し、OBと現役の交流を深めました。今年は、宮田忠幸（昭29卒）元会長が、平成30年5月の審査で、居合道範士8段に合格されたので、その祝賀を込めた稽古会となりました。範士の演武がOB・現役へ披露されたことは、誠にお目出度く、卒業生としてこんな嬉しいことはありません。

続いて合同稽古会に移り、一汗かいたあと、懐かしの中華園珍満に席を移し、祝賀と懇



親を深める会を催しました。

剣道部OB会副会長

小田倉康家（昭45卒）

### 『知道月報』（昭和3年から12年発行）

36冊＋コピー1冊が、島敏雄（昭12卒）氏より寄贈された。島氏の実家「島家住宅」は江戸中期に建設され、国の登録有形文化財の指定を受けている。城里町に寄付するにあたって、蔵を整理して発見されたものが、140周年記念に知道会に寄贈された。

各執筆者が、漢文の素養を持っていたことが伝わってくる。



### （劇団）シアターリミテ 水戸公演『カミと蒟蒻』

長谷川源太（昭62卒）氏が作・演出・プロデュースする演劇のカンパニー（劇団）シアターリミテ。アマチュアの社会人劇団として、幅広い年代の観劇に耐えうる社会性と娯楽性を追求した舞台を目指し、1992年から、京都を中心に活動している。

今回の公演『カミと蒟蒻』は、2016年に初演し、第22回劇作家協会新人戯曲賞に最終候補としてノミネートされた作品。戦中に日本各地で作られた風船爆弾が、北茨城からアメリカに向けて放球された史実を基に、74年前の狂信と現代の狂信を問い直す作品。爆弾を製造した



京都と、放球した茨城で公演するという長年の夢が実現する。

日時／9月14日（土）15:00～、15日（日）11:00～、15:00～  
会場／稽古場 風（水戸市新荘3-4-5）  
チケット／事前予約2,000円（当日2,500円）  
※チケットの申し込みは、8月1日以降、以下の電話番号にお電話ください。

問合せ／090-3615-3934（劇団制作担当）

### 書籍紹介

#### 名曲を訪ねてシネマの森へ

柳沢正史（昭38卒）著  
誠文堂新光社  
1,900円＋税

オーディオ総合誌「MJ 無線と実験」に11年にわたり連載されたコラムをまとめた一冊。

名画や話題作を、その作品に使われた音楽とともに解説している。音楽のほとんどは主題歌でヒットしたものでなく、既成のジャズやポピュラー、そしてクラシックなど。映画と音楽についての興味深い（ときにはマニアックな）エピソード・トリビアなどが作品ごとに書かれており、好きなページから読むことができる。



#### ぼくらのパラダイス

小貫和也（昭33卒）著  
文芸社  
700円＋税

小学6年のカッペイを中心に、学級新聞の製作を通して、彼らの郷土愛や自然保護への強い気持ちが描かれた日記風小説。豊かな自然描写にワクワクした。担任のゴムさんの助言のもと、学級新聞で「ぼくらのパラダイス」を守ることが出来るか!?



#### 「古今和歌集」の創造力

鈴木宏子（昭54卒）著  
NHKブックス  
1,500円＋税

日本最初の勅撰和歌集である古今和歌集。選者である紀貫之の序文や配列に注目し、表現論や編集論という新たな角度で解説する。なぜ梅にはウグイスなのか。なぜ秋は悲しいのか。あらゆる詩歌や文学的感受性の「型」を創りあげた、紀貫之の企図を大胆に読み解く。



#### フィールドワーク授業入門 一水戸内原の問いかけ

綿引弘文（昭47卒）著  
一草書房  
定価1,200円＋税

36年間にわたり小中学校教諭を務めた著者が、授業づくりに悩む若い教師に贈る迫力に満ちた授業の記録。子どもたちと行ったイチゴ農家や消防署の取材、アイヌ文化を学んだ宿泊学習など、教師と子どもが共に学ぶというフィールドワーク授業の魅力が詰まっている。



### 新任幹事長挨拶

河野秀幸

2018（平成30）年11月をもって退任されました栗原英則前幹事長の後任として幹事長に就任いたしました昭和63年卒の河野です。知道会の運営に関わり始めて10年目にして大役を預かることになり、責任の重さを感じております。

母校は2021年度からの併設型中高一貫校への改革を受けて、新たな時代を迎えます。これまでも数多の変革期を乗り越えながら築



かれてきた伝統や校風を受け継ぎつつ、さらに充実進化して行く母校と、それを担う在校生を応援するためには、会員の皆様の一層のご協力が欠かせないものと感じております。

各地域知道会や職域知道会との連携や運営費の問題など課題も数多くありますが、国内外を問わず幅広い分野で活躍される会員3万8千名のネットワークという大きな財産を活かして、本会の目的である会員相互の親交をはかり、母校の発展に最大限の支援ができるよう努めて参りたいと思います。

今後とも会員の皆様のご支援ご協力を心からお願い申し上げます。

## 総務委員会

平成31年知道会会員の集い実行委員会のスタートとして、創立140周年記念祝賀会反省会並びに幹事引継ぎ会を、平成31年3月30日(土)18時から水戸市内にて開催いたしました。参加者は正副幹事長、知道会事務局、総務委員、昨年の幹事学年(昭和62、平成9、平成19卒)と、今年の集いの企画運営にあたる新しい学年幹事(昭和63、平成10、平成20卒)。加えて委員会の今後のさらなる横の繋がりを図るべく、親睦委員会の加藤委員長にも参加いただき、計18名の参加により、意見交換と懇親を行いました。企画詳細につきましては、今後決まり次第、随時知道会ホームページに掲載しますので、ぜひご覧ください。

総務委員会は今後、知道会集いのほか、東京知道会との交流企画その他、地域職域知道会や、各委員会と連携を図りながら活動して参ります。

## 親睦委員会 第40回知道会ゴルフ大会のお知らせ

**日時**／令和元年6月22日(土)  
**場所**／静ヒルズカントリークラブ(常陸大宮市小場)  
**料金**／14,400円(昼食込・セルフプレー)  
**会費**／4,000円 当日受付の際、お支払いください。  
**申込方法**／6月8日(土)までに、氏名、卒年、生年月日、住所、携帯電話番号を明記のうえ、メール又はFAXで、知道会事務局へ(下記参照)。

## 財務委員会

年会費の納入は、便利で手間いらず!銀行等預金口座振替をご利用ください!

現在、「口座振替キャンペーン」を実施中です!本年5月1日から9月30日までの期間で口座振替の手続きをして頂いた方を対象にクオ・カード(1,000円)を進呈しております。

ぜひ、この機会に年会費納入を口座振替へ!!なお、振替依頼書は事務局より送付しておりますのでご連絡ください。



## 第68期 知道会幹事会及び委員会名簿

顧問	後藤卓三(S19)、西野虎之介(S23)、角田芳夫(S28)、☆高村祐一(S56)
会長	鬼澤邦夫(S38)
副会長	稲葉節生(S38)、井内義興(S33)、☆江幡秀則(S47)
幹事長	☆河野秀幸(S63)
副幹事長	飯塚博之(S56)、☆鹿志村茂(H5)
総務委員会	☆*◎齋藤修(H6)、☆*◎海老澤浩一(S58)、☆*◎坪井正幸(H5)、黒木雅宏(S58)、橋本慎(S58)、竹村広治(H3)、倉田章吾(H3)、住谷則昭(H4)、*◎瀬昭宏(H5)、川崎篤之(H8)、佐藤爾弥(H8)、星野博史(H11)、細田明俊(H14)、住谷直樹(H14)、北澤佑子(H17)、☆山村美樹(H19)
財務委員会	*◎関田國作(S53)、*◎加藤一郎(S53)、*◎仲田留美(S63)、*◎出澤琢磨(H1)、大金誠(S42)、皆川真規夫(S45)、太田聖史(S58)、坂本正弘(H1)、猪野嘉彦(H2)、*坏なきさ(H3)、*稲野知穂(H19)
名簿委員会	*◎水口二良(S47)、*◎後藤直樹(S54)、*◎加賀美理帆(S59)、伊藤道子(S53)、須能浩信(S60)、岡村太郎(H7)、岡村有希子(H7)、野村貴広(H7)、渡邊優美(H15)
広報委員会	*◎和田宏(S51)、*◎宮内寿子(S47)、*◎磯美保(S60)、内藤学(S53)、後藤岳志(S54)、森田真理子(S56)、平井夏樹(S56)、平山桂己(S59)、小林典子(H6)、田中亮(H9)、海老澤佳之(H9)、☆中原清人(H9)、和知忠道(H11)、菊地克仁(H13)
親睦委員会	☆*◎加藤尚弘(H6)、*◎磯崎雄司(H1)、☆*◎海老根武(H2)、橘川栄作(S56)、菊地功(S57)、君和田利智(S57)、小澤一利(S58)、高林憲一(S58)、黒澤広忠(S58)、高橋淳子(S58)、原口哲也(S60)、濱野正之(H4)、藤田奈津子(H13)、三村玲緒(H19)、加藤祐介(H19)
幹事	☆*◎服部隆全(S53)、☆*◎入野浩美(S54)、*武田秀(S53)、*小松崎光一(S60)、☆*◎中島伸彰(H12)、*◎石井健司(S56)
監事	篠原勉(S48)、小野瀬益夫(S51)
事務局	徳永美佳(S59)

2019.4.15現在

( ) 卒業年次、\* 幹事、◎ 委員長、○ 副委員長、☆ 新任

## 物故者(H30.10～H31.3迄にご連絡を頂いた方を掲載しました。)

旧職員 秋山 實	昭24高 菊池 俊一	昭29高 綿引(石井)正明	昭36高 谷津 洋一
昭14中 郡司 三郎	昭24高 高倉 正昭	昭29高 大内 正博	昭37高 薄井 修
昭14中 西村 三郎	昭25高 根本 泰	昭30高 河野 浩東	昭38高 伊藤 征雄
昭16中 田崎 喜信	昭25高 尾又 幸雄	昭31高 片野 智之	昭38高 杉山 一雄
昭17中 荒木田光男	昭25高 青砥 光夫	昭31高 車田 巴	昭39高 中山 桂司
昭18中 川野辺 薫	昭26高 加藤木 薫	昭31高 会沢 義光	昭39高 石崎 誠
昭18中 富岡 一三	昭26高 打越 一男	昭31高 飛田 光正	昭39高 渡辺 敏行
昭19中 川崎(上野)準雄	昭26高 武留井義男	昭31高 小室 克哉	昭40高 渡辺 克幸
昭20中⑤安島 昭	昭27高 梅原 勉	昭32高 松本 隆	昭45高 田中 孝文
昭20中⑤坪松 猛	昭27高 川上 勉	昭32高 木村 守男	昭45高 清野 栄子
昭20中④深谷 哲夫	昭27高 中島 利男	昭33高 平野 光雄	昭46高 福田 幸夫
昭20中④根本 昭三	昭27高 沼田 務	昭33高 海沢 哲明	昭47通 植田 昌孝
昭22中 海野 好	昭27高 滝口 悟	昭33高 酒泉(西原)幹雄	昭49高 中崎 昭夫
昭22中 寺門 隆	昭28高 山中 幸久	昭33高 小田倉正信	昭52高 横須賀一郎
昭22中 渡辺 彰	昭28高 小松崎 克	昭34高 額賀 正雄	昭54高 青野 敏宏
昭23中 菊池 俊一	昭28高 島津孝一郎	昭35高 岡田(堀口)英雄	昭54高 横山 渡
昭23中 高倉 正昭	昭28高 佐羽内恒夫	昭35高 森 博義	昭54高 直井 秀人

## 【事務局から】

新緑の美しいこの季節に、いよいよ令和の時代を迎えることになりました。明治に始まり、昭和・平成と続いてきた我が母校にも、新しい風が吹くことでしょう。そして、時代が変わっても変化することなく受け継がれていく校風は、私たちの誇りです。女子生徒がほぼ半数に達して、ますます華やかに笑いさざめき合っている姿を見ながら、脈々と流れる伝統が変化しながらも続いていくことを願っております。

## 学校基本データ

学校創立	1878年(明治11年)10月2日
平成31年	創立141年
同窓会員数	38,786名(平成31年3月現在)
住所判明者	21,860名(平成31年3月現在)
在籍生徒数	970名(男子528名 女子442名) (平成31年4月現在)